

# 保育の中で大切にしていること きぼうぐみ

## あいさつを大切に

挨拶は、「おはよう」「ありがとう」「ごんね」「さようなら」などたくさんあります。挨拶は人間関係を築いていくためにとても大切です。その大切な挨拶を身につけていくことができるよう保育者がお手本を見せたり、一緒を試みたりしています。挨拶がうまくできない時には、少し時間をおいたり、本人の気持ちを確認して認めながら過ごすようにしています。

## 「やってみたい」を行える環境づくり

様々なことに興味を示す2歳児さん。発達や年齢を考えてやることを決めるだけではなく、子どもたちが「やりたい」と思うことを一緒に過ごす中での姿から見つけたり、子どもたちの意見を尊重して挑戦することも大切にしています。



## 子どもたちとの会話を丁寧に。

2歳児あたりからなぜなぜ期が始まる場合があります。その「なぜ」「どうして」を繰り返し、答えを知ることによって言葉の世界や知識を広げていくことが出来ます。そのために子どもとの会話は丁寧に言い、言葉の意味を一緒に確認をしたり、わからないことは調べてみたりしています。保育者が丁寧に聞く姿を見せることで聞く姿勢を知ることできますね。

## 成功は一緒に喜び、失敗は頑張りを認める。

「やってみたい」「自分でやりたい」が多く出てくる分、成功することもあるけれど、失敗することも多くなります。成功した際には、一緒に喜び、意欲を高めて継続していけるようにしていきます。失敗してしまった際には、頑張った過程を認めて次どのようにしたらよいかを話すようにしています。失敗後は気持ちが下がることも多いので、無理に挑戦はしないようにしています。

## 身体活動を活発に行う。

少しずつ身体をコントロールすることができるようになる時期なので、身体を動かすことを大切にしています。戸外では、必ずルールのある遊びを取り入れて身体を動かす機会を作り、雨天などで室内で過ごす際にもリズム体操やサーキット遊びなどを行っています。スポーツプログラムの講師とも連携し、必要な動きや活動を教えてもらいながら過ごしています。

## 表現活動を知り、楽しむ。

想像力がどんどん膨らんでいき、発想豊かになる2歳児さん。リズム体操で踊る楽しさを知ること自分なりの創作ダンスを作ったり、動物ごっこなどのまねっこ遊びでは、動き方や鳴き声などを考えてみんなで共有しながら取り組んでいます。できるようになった表現活動を身近な人に見てもらうことで自信や満足感につながります。

## 自分自身を認め、自己肯定感を高める

失敗したり、友だちとトラブルになることが増える2歳児さんなので、ひとりひとりの姿をよく見て認めていくことを大切にしています。言葉を使うだけではなく、表情も使ってより分かりやすく伝えられるように工夫しています。



## 非認知能力を育む。

非認知能力は3歳児までに土台が完成すると言われていています。忍耐力・社会性・感情コントロールの3要素が大切です。育むために、机上遊びを取り入れてやり抜く楽しさを知ることができるようしたり、自分で考える機会を作ったりするようにしています。

